

校則見直し

録画配信 

学校生活は子供が主役
先生のゆとりも必要です

日本共産党戸田市議団
むとう 葉子 議員

Q 児童生徒の声は反映されているか

A 子供を主語とした教育活動を支援する

議員 校則には、服装などの細かな指定があり、納得できなくても守らなければならなかった。昨今、多様性が認められる中、校則における厳しい指導は人権侵害に当たることから、文科省は、校則などを見直すよう通知を出し、本市でも見直しが進められている。児童生徒の声は反映されているか。

教育部長 教育的意義を踏まえ、点検や見直しが進むよう、各校に周知している。具体的な取り組みとして、小学校では総合的な学習の時間に6年生の児童と先生、PTA役員などに意見を聞き、主体的に見直した。中学校では生徒会での議題となり、職員会議に提案、承認を得て見直された。

議員 他の自治体の取り組みも教育委員会としてアドバイスしてはどうか。また「子どもの権利条約」を生徒手帳に記載してはどうか。

教育部長 他自治体の取り組みも研究し、情報を共有する。校則は学校裁量であるが、「子どもの権利条約」の中で、子供の意見の尊重が記されている。子供を主語とした教育活動を支援していく。

その他の質問

Q 消防職員における大型免許取得に係る費用を補助するべきではないか

A 機関員に不足が生じる場合は他市の補助制度なども参考にしながら育成計画の見直しなど検討する



大型免許が必要な35メートル級はしご車

気候危機打開

録画配信 

ごみの減量・分別
身近なエコで地球を守ろう

日本共産党戸田市議団
はな井 伸子 議員

Q 温室効果ガスの削減目標見直しを

A 速やかに見直しを進める

議員 世界各地で異常な豪雨、猛暑、森林火災、干ばつなどが大問題になっている。国連IPCC「1.5℃特別報告書」は、2030年までに大気中の温室効果ガスを2010年比で46%削減しなければ、2050年までに実質ゼロを達成できないことを明らかにした。国も46%削減へ目標を見直した。本市の環境基本計画2021における26%削減という目標も、直ちに見直すべき。

環境経済部長 中間見直し時期を可能な限り前倒しし、速やかに削減目標と事業の見直しを進めていく。

議員 再生可能エネルギーの積極的推進のため、市は率先して公共施設に太陽光発電を設置すべき。

環境経済部長 関係部署と連携し、公共施設の改修や再編を行う際に導入できないか前向きに検討する。

議員 県内32自治体がゼロカーボンシティ宣言を行っている。本市でも早急に表明すべき。

市長 実効性のある事業の構築を丁寧に行った上で、見直し時期を可能な限り前倒しし、表明へつないでいく。

議員 思い切った予算配分と人の配置を要望する。



気候危機打開に向けた取り組みが求められます

脱炭素社会推進

録画配信 

地球の健康を考えて
みんなで出来ることを！

公明党
いしかわ きよあき
石川 清明 議員

Q 脱炭素社会の実現へ本市の考えは

A 本市独自の分野をさらに進めていく

議員 脱炭素社会の実現に向けての本市の考えは。
環境経済部長 「環境基本計画2021」では、地球温暖化や気候変動適応といった新たな考え方を盛り込んだほか、生物多様性の保全、資源循環の推進など、本市独自の分野をさらに進めていくことが定められている。各分野の目標に向かって、市民、事業者、行政がそれぞれの役割を果たしていく。

議員 重点プロジェクト達成に向け今後の取り組みは。

環境経済部長 市民一人ひとりの意識の向上につなげるため、各制度の周知が重要であると考え。国や県などとも連携し、情報発信を強化していく。

議員 脱炭素社会実現に向けたプラごみ対策は。

環境経済部長 プラごみ減量化のアイデアを募集し、イベントで発表する機会を設けるなど、ごみの減量化に対する意識を高めることができるよう取り組む。

その他の質問

Q グリーンライフ・ポイントを導入しては

A スマートフォンを利用したシステムの構築や参加店舗の募集など、さまざまな課題があり、今後、他自治体の先進事例などの調査研究を行う



昨年実施された「とだ環境フェア」でのパネル展示

自転車歩行者空間

録画配信 

安心できる
自転車歩行者空間を！

公明党
のみら 伸雄 議員

Q 笹目川沿いの植樹帯を歩行空間に

A 慎重に検討していく必要がある

議員 笹目川沿いの根木橋から山宮橋方向への道路のフェンス沿いに設置されている植樹帯を撤去し、散歩やジョギングができる歩行空間に改善してほしいと笹目2丁目町会から要望が出されている。対応は。

都市整備部長 令和3年度に、住宅地側の歩行空間をできる限り広く目立たせるように外側線の引き直しや路側帯の内側を塗装する修繕を実施した。

議員 本市が掲げる「出歩きやすいまちづくりの推進」とも合致する問題の一つであり、市民のニーズがしっかりと反映されるよう検討を。

都市整備部長 植樹帯を撤去する場合、河川構造物に影響を与えるため、河川管理者の県と協議の上、慎重に検討する必要がある。

Q 自転車通行空間の整備と安全対策を

A 注意喚起する看板を設置する

議員 美女木1丁目（北）交差点から美女木ハイツ前の歩道を自転車が行き交う状況が見受けられる。歩行者の安全対策を。

都市整備部長 自転車が車道左側を通行するように注意喚起する看板を設置し、歩行者の安全を確保する。



歩道を走る自転車